



# ロータリー： 変化をもたらす

**ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE**

**太田ロータリークラブ  
WEEKLY REPORT**

No. 2 3 8 1  
2 0 1 7 年

9月28日(木)  
第2957回 例会

ホームページ <http://www.ota-rc.org/>

## 9月28日(木) 例会報告

### ◆会長挨拶



みなさんこんにちは。異常気象が相変わらず続いております。今朝方も千葉県で記録的短時間豪雨の警報が発令されました。50年に一度、あるいは100年に一度の豪雨によって交通機関がマヒ状態になったようです。雨だけなら良いのですが最近の異常気象は地域によっては旅客機の部品まで降ってくるようになってしまいました。大事になる前に安全対策をしっかりと確立して頂きたいものです。

去る9月25日に太田ローターアクトクラブの公式訪問として佐藤ローターアクト委員、板橋幹事と私で例会に参加して参りました。現会長の内山さんは太田女子高校で日本史を教えて

いる期待の若手講師です。内山会長は今年のターゲットを「変化×前進＝成長」という式に表して、全会員の力を結集して自分達を磨いていこう、と決めました。この式を見て「 $E=mc^2$ 」という物理式を思い出しました。今となっては忘却の彼方にチラチラ見え隠れしている式ですが、簡にして要点をついた式であると思いました。

ローターアクトクラブは1971年にスタートし、すでに47年になろうとしています。長い歴史があるのですが、まだまだ社会における認知度は高いとは言えない状況です。現在は9名の会員で運営されており、会員増強が求められています。会員各位の事業所の中からローターアクトクラブのメンバーを推薦して頂ければと思います。活動予定を見ますと、とても9名の会員の活動とは思えないほど多岐に亘っております。特に新潟県とは現在も交流を続けており、今年は伊香保で合同例会を開催すると聞いております。こうした交流を続けることでローターアクトでならでの貴重な経験を重ねて頂きたいと思えます。

また9月24日には前橋市で開催された地区米山記念奨学セミナーに松本 博米山奨学委員会委員長、竹部弘昭副幹事と私で出席して参りま

事務所：群馬県太田市飯田町584  
〒373-0851 TEL. 0276 (46) 5400  
FAX. 0276 (46) 5401  
例会場：群馬県太田市飯塚町2056  
ロイヤルチェスター太田  
例会日時：毎週木曜日 12時30分

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長 大塩 孝  
幹事 板橋 一博

クラブ 西川 宗克 大石 佳  
会報委員会 小林 正知 別府 一彦  
中島 明浩 安藤 浩之

した。

冒頭、地区米山奨学委員長である齋藤勝也氏（富岡かぶらRC）より米山奨学の現状について説明がありました。ロータリー米山奨学会は「勉学または研究のために来日し、我が国の大学等教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と国際親善と平和に寄与する」ことを目的としています。日本で学ぶ外国人留学生を支援する目的で毎年800名余の学生に奨学金を支給しています。当地区では毎年20名ほどに支給しており、来年2月には奨学生が決定し各クラブに世話クラブの斡旋を行う予定になっています。これにかかる費用は会員各位の寄付金に掛かっています。会員各位には地区目標として16,000円以上の寄付をお願いしております。太田クラブでは昨年地区目標を大きく超える22,000円/人のご寄附を頂きました。あるクラブでは「俺も出すからお前も出せ」ということで積極的に支援をお願いして目標を達成したという報告がありました。説明の後、米山奨学の体験談として群大大学院で皮膚科の研究を行っている留学生のリヤナゲ・ベレーラ・マノシカ・ブッディニさんから「米山奨学金を受けるようになってから安心して勉学に専念できることができ、帰国したら故国の医療に貢献したい」という話がありました。

ついでカウンセラーの体験談として「若い学生との交流を続けて最も大切なカウンセラーの役割とは留学生に寄り添うことであり、決して当方から何かアクションを起こすのではなく適正な距離感を保つが大切である」との報告を頂きました。奨学生は学業が第一であり、例会出席は奨学生の負担にならないよう考慮する必要があります。

当地区米山奨学会学友会会長の挨拶では、奨学金を頂くことによって大変貴重な体験をし「四つのテスト」を基本として広範なボランティア活動を行っている、という話を頂きました。第4分区Bガバナー補佐槻岡 行支氏からは、ロータリー歴が浅いままに会長を務めガバナー補佐になってしまったが、クラブ目標を「米山寄付

で地区のトップになろう」と定め、人材の育成を使命ととらえて活動を行う中で、何かにつけて飲みにケーションを行って寄付金を募り、米山に関する募金箱「Y o N e Y a M a B O X」を設置して例会時に募金して頂いている、という話を頂きました。コーヒープレイクの後、DVD「世界へ届け米山の懸け橋」の映写、そして米山奨学会理事高木 貞一郎氏より「ロータリー米山記念奨学事業美について」の講話がありました。

米山奨学会は「苦学生」が対象なのではなく「将来日本にとって役立つ人材への支援」が目標です。日本への留学生は中国・ベトナムが多くなってきましたが、近年は就職のために奨学金を利用する人が多くなっており、その結果音信不通になった奨学生が7.1%にも上っている、という大変悩ましい結果が報告されました。貴重な奨学金を頂いている訳ですから、将来は出身国と日本の懸け橋となるべく学業に専念して頂きたいと切に願います。将来の日本のためにも米山奨学会へのご支援を宜しくお願い致します。簡単ではありますが、以上が米山セミナーの報告ならびに会長挨拶となります。どうもありがとうございました。

## ◆幹事報告

### 1. 報告事項

- (1) 横幕 和幸広報・雑誌委員長より頂きましたサッポロライオンの割引優待券をBOXの中に入れて頂きました。ご確認宜しくお願いします。
- (2) 日本事務局経理室より10月の国際ロータリーレートのお知らせが届きました。9月末まで1ドル=109円ででしたが10月のロータリーレートは1ドル=112円となります。
- (3) ガバナー事務所から前橋問屋センター会館駐車場についてのご案内とガバナー事務所来客用駐車場の地図が届いております。回覧しておりますのでご確認願います。地図等を個別に欲しい方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください

い。

## 2. 回覧内容

- ①地区大会の出欠確認
- ②第4分区A・B10クラブ親睦チャリティゴルフ大会の出欠確認

## 3. 他クラブの例会変更

- 分区内：館林ミレニアム・太田中央 各RC
- 分区外：前橋中央・前橋北・富岡中央 各RC

# 委員会・部会報告

## 《国際奉仕委員会》

- ①松本 隆 国際奉仕委員長



## 「韓日親善会議報告」

第14回日韓親善会議の報告をさせていただきます。

【渡航日程】9月22日（金）出国

9月24日（日）帰国

【参加会員】竹内 正幸 パストガバナー

板橋 一博 幹事

島田 光貴 親睦委員長

松本 隆 国際奉仕委員長

【スケジュール】

### ●9月22日（金）

AM 7：30 群馬出発

PM 12：05 羽田空港発

（アジアナ航空）

PM 3：00 ソウル金浦空港着

自由行動 焼肉食べ放題

### ●9月23日（土）

PM 12：00 日韓親善会議会場へ

（グランドハイアット：五つ星ホテル）

PM 12：30 登録開始

PM 1：30 日韓親善会議開催

PM 6：30 晩餐会

日韓親善会議は2年に1回、韓国と日本で持ち回りで開催され、途中不開催の時期もあったようですが、今年で35年目を迎える日本と韓国の親善を深める民間外交の代表的使節団の位置づけです。

参加人数は総勢1,000名（日本300名 韓国700名）となっております。日本の大使が祝辞を述べた後、仁川大学（私学の雄：ソウル大学は国立大の雄）の学長が挨拶をされました。祝賀講演ではリトルエンジェルス芸術団という世界的に有名な小学生の歌唱団の素晴らしい歌を聞くことができました。

晩餐会終了後に、ニュー大田メンバーとの交流会に臨みました（乾杯はいつもの爆弾焼酎）。参加メンバーは相変わらずの飲みっぷりでしたが、太田RC60周年記念に来日頂いた御礼も含め、有効な交流の機会を得るに至りました。2018年4月28日ニュー大田地区大会がありますので、ご都合のつく方は是非ともご参加ください。

## 《出席委員会》

○会員総数	73名	} 56名
○事前メイク	20名	
○本日の出席	36名	
○出席率	76.71%	

## ◆点鐘 & 「我等の生業」 斉唱